



転校初日からクラスメイト達の多大な注目を集め、
アフロローチを掛けてくる男子達を
その浮世離れした言動で返り討ちにしてきた彼女

ある日、彼女とその友人たちの会話を偶然盗み聞いた
一人の人物に、彼女がアンドロイドである事が露見してしまふ

そんな秘密を知ったその人物は「ある嘘」が吐き通せると踏み、
放課後の空き教室に彼女を呼び出したのだった！

こ…これ
いいでしょうか…？

…男性の生殖液を
排泄口に注ぎ込む補給法など
私のデータにありませんが…

もしも…♡

む…♡

エ…♡

見られていただけなのに
体温と心拍数が
上昇してゆく…なぜ…？

あ…これが男性器…
実物は初めて見ました…

ずい…
ずい…
ずい…

高い熱量を発して…
これが勃起という状態…

そ…それを…私に
挿入するのですか…？

ズキ…
ズキ…
ズキ…

ズキ…
ズキ…
ズキ…

ん…♡ ああの…
本当にそんなものを入れて
大丈夫なのでしょうか…

私の排泄口が男性器に
ほぐされてる…優しく
執拗に口づけするみたいだ…

ピクッ♡

ふふ…♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡
ちゅっ♡

くっ♡

どきどき…♡

私の身体が…なにかを期待してる…？
理解…不能です…



あ…あの…
少し待っててくれませんか…

ぐんぐん…♡

ぐんぐん…♡

おね…♡

これ…そんなでもない事を
しよつとしてるのでは…





あ...!?

ふんくん
♡

嘘...入ってしまった...
あんな大きなものが...
身体の中...少しずつ
男性器の形に押し広げられて...

じゅぽっ
じゅぽっ

あ

なに、これ…っ？

肛内を男性器で
抉られて…っ

あ

は

とても…苦しいのに…
なぜ…身体が悦んで…

ぐちゃっ
ぐちゃっ

ぶちゅっ

ぶちゅっ

だめ…このままでは…
オーバーヒート…する…っ

あ





来た…奥に…っ

ふむふむっ

びゅるるるるっ



男性の生殖液が…
私の中に注がれてるっ…

びゅるるるるっ

びゅくびゅくっ



これが…射精…

重たい生殖液が
私の肛内に満たされて…

肉体的な快楽と
幸福感があふれてくる…

ん…♡

あ…♡

ぞくぞく…♡

いびき…♡

とぶとぶ…♡

身体の内側が熱く溶けて…
この人とひとつになっ…

はあ…♡

びゅるるる…♡

びゅっ♡びゅっ…♡





ク
ク
ク

おっぱい
おっぱい
おっぱい

ク
ク
ク

あ…貴方の生殖液が…
せっかく注いでもらっただのに…

はぁ…

はぁ…

はぁ…

ひく…

ひく…

ぬるお…

ぐぽっ…

あの…
よければまた…

貴方に補給をお願いしても
よろしいでしょうか…？